

小松社長（右）から義援金の目録を受け取る日本赤十字社県支部の木次事務局長

〓 松江市乃木福富町の小松電機産業で



復興に役立てて

小松電機産業 520万円義援金

東日本大震災の被災地復興に役立ててもらおうと、松江市の小松電機産業（小松昭夫社長）は15日、会社の義援金500万円と、社員有志の義援金20万2826円を日本赤十字社県支部に託した。小松社長から義援金目録を受け取った同支部の木次健悦事務局長は「ご厚意に感謝し、被災地の復興に役立てたい」と話した。

同社は上下水道遠隔管理システムの最大手で、「やくも水神シリーズ」で知られる。被災地の中には同社のシステムを導入している自治体が多く、小松社長は「水神を納入している自治体などを対象に、義援金とは別に500万円を用意し、機器の取り換えや補修費用などに充ててもらう」と話した。

今回の大震災では、

東京電力による計画停電が実施されている。小松社長は「これまで誰も考えていなかった事態で、現在、計画停電に対応する水神のシステムを開発中。3月中にも間に合わせた」と述べた。

【元田 禎】